

# 旧植田家だより

KYU-UEDAKE INFORMATION

Vol. 47

2021年4月発行

令和2年度 冬季企画展

昔のくらしはエコなくらし

特集

コロナ、この一年

これ、なあに？

連載コラム

「落穂拾い - 今東光の薫風 - (四十一)」



<http://kyu-uedakejutaku.jp/>



## 展示のご案内



- ※休館日はP15をご覧ください

## Contents

- 4 令和2年度 冬季企画展  
昔のくらはしはエコなくらし
- 6 教育コラボレーション演習  
昔遊び紹介
- 7 旧家で暖家支援  
石臼珈琲体験(再挑戦)
- 8 特集  
コロナ、この一年
- 10 四会所だより(27) 新田会所巡り案内
- 11 日日植田家住宅 第4日:エコなハコとゴミ袋
- 12 今昔あそび体験 手習い所〜ビー玉を使った遊び〜
- 13 植ちょピ
- 14 コラム「落穂拾い - 今東光の薫風 - (四十一)」
- 15 旧植田家住宅のご案内



ギャラリーにて  
バックナンバー  
配架中※

※『旧植田家住宅だより』の  
バックナンバーはホームページ  
からもダウンロードできます。  
<http://kyu-uedakejutaku.jp>

表紙写真

### 《はねつるべ(跳ね釣瓶)のおもり》

直径約 36cm(穴 直径約 12cm) × 高さ 12cm の  
石の塊。田畑などで井戸水を汲むための「はね  
つるべ」のおもりとして使用された。かつては  
道端などによく落ちていたが、最近ではほと  
んど見なくなった。原始時代のお金ではない。



# 昔のくらしはエコなくらし

修理して  
何度も使う。



「継ぎ」の入った食器



羽釜の修理痕

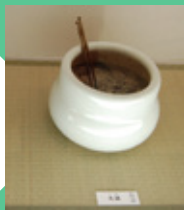


破れた布を裏から補修する  
「継ぎ当て」の技（表面からは目立たない）

繰り返して  
無駄なく使う。



電気をいっさい使わない、昔のあかりと暖房の道具



令和3年(2021)

1月6日(水)～3月15日(月)

令和2年度 冬季企画展

## 昔のくらしはエコなくらし

新しい生活様式は、現在のコロナ禍のような事態において求められることもあるが、歴史を遡ると、各時代や地域において使われた道具によって生み出される面がある。江戸時代から昭和までの民具が残る旧植田家住宅において、現代の観点でエコについて考える企画展「昔のくらしはエコなくらし」を開催した。

### 【H2R3R】

「エコ」という観念は、エコロジー（生物の生活や環境学との関係）で「（自然）環境にいい」とことと、エコノミー（経済と環境との関係）で「（効率よく）あまりお金がかからない」とこととされ、実際には結果的に「エコだったよね」という昔のくらしに学び、将来的にも現代のくらしを良くすることにつながっている。

また以前から「3R」という視点に基づいてエコを考えると動きもあり、私たちの生活はもとより、多くの企業などがこの考え方をとり入れている。3Rとは、（3R推進協議会より）

Reduce（リデュース）・Reuse（リユース）・Recycle（リサイクル）の頭文字をとったもので、





着物、はぎれ(布)、雑巾、ハタキはリサイクルの基本



豆腐専用の豆腐かご



風呂敷と買い物かご



荷物の取っ手もとっておく



買った豆腐はアルミ鍋で

物を運ぶのもエコ?

自分で作る。



子の成長にあわせ縫いかけの着物

Recycle



冷めた水も使う湯たんぽ



暑い日には水枕



水囊吊り(今は冷え○タ)

温めるのも冷やすのもエコ。

Reduce

Reuse

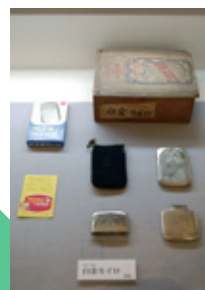


中身を入替える灰式の懐炉

使い捨てない  
カイロ。



珍品! 温泉懐炉



白金カイロ

ちょっと3R(スリーアール)



新聞ゴミ袋とエコな箱・鍋敷

※エコな鍋敷の  
作り方(目録↓)



それぞれ「(ゴミの)減量」「再使用」「再利用」を意味している。製品を作る際の資源の量や廃棄物を減らしたり、使用済み製品や部品などを繰り返し使うこと、廃棄物を別の形あるいはエネルギー源として利用することなどが挙げられる。

【昔のくらしはエコ?】

本企画展では、この3Rに照らし合わせ、主に昭和の道具を展示したところ、そのほとんどがこれに当てはまることが分かった。当時電気はあったが電化製品があまり普及していなかった時代であり、現代の生活様式とは大きく違っている。当然、今の技術や資源などがない時代のためエコなくらしであっただけではあるが、物を大切に、あまり捨てず、最後まで使い切り、物がなければ自分たちで考え、作ったりする精神がこの時代にもまだ残されている。

エコなくらしを考えるにあたり、当時の人々にとってその時代のくらしは、ごく当たり前で、最新なものであったに違いない。いま私たちは当時の「懐かしい」ものを新たに「輝かしい」ものにリサイクルしようとしているが、その新しい価値観は既に昔にあったものだったといえるのではないだろうか。

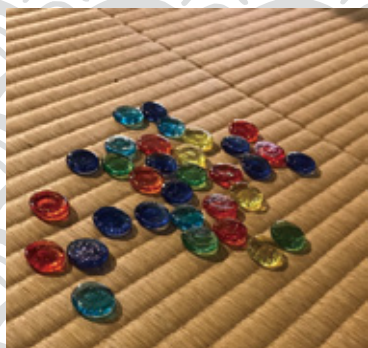
(学芸員 安藤亮)

# 昔遊び紹介

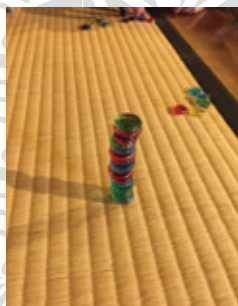


大阪教育大学3回生  
蜷 焯婷・三田村琴子

私たちは、教育コラボレーション演習として「むかし遊びの日」に参加させていただきました。  
体験した遊びの中から、特に印象に残った2つの遊びを紹介します。



色とりどりのおはじき



積み重ねて高さを競う

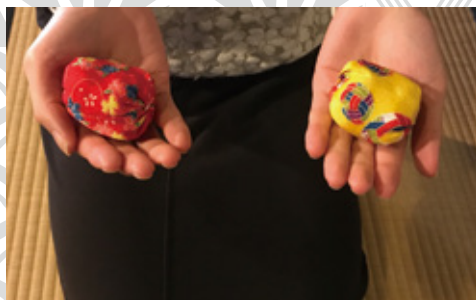
## 【おはじき】

1人でも数人でも遊ぶことができます。  
平たいガラス玉を指ではじいて遊びます。  
「おやつ」というルールがあったり、はじいた距離や重ねた高さを競う遊び方を考えたりして楽しみました。



## 【おてだま】

手の上で投げて遊びます。歌に合わせてたり、  
投げる数を増やして楽しみます。お手玉の中には小豆や穀物を入れることが多く、  
戦時中には米を入れて非常食としていたこともあったそうです。



俵型のお手玉

素早く投げて拾う「おさらけ」



2人とも初体験でしたが、遊び方は簡単で、すぐに楽しむことができました。  
皆さんもぜひ、むかし遊びを体験しに来てください！ 【毎月第3日曜 13時～16時】



## 石臼珈琲体験（再挑戦）



令和3年1月、2度目の「緊急事態宣言」を受け、予定していた冬限定企画「旧家で暖家支援」を断念し、その関連企画である2月14日の「石臼珈琲体験」も中止を決定しました。今回は万全のコロナ対策を講じて定員数を減らして事前予約制にしていたため、すでに申し込まれた方がたは、大変残念といった様子でした。

その約1カ月半後、感染者数も徐々に減少。時期尚早ながらも宣言解除が決まり、石臼珈琲体験だけでも再挑戦しようと、3月14日に再び実施を試みました。参加者も再募集する予定でしたが、先の予約者に優先的にお知らせをした結果、全員喜んで参加ということで再度定員となりました。

前回の実施から1年。「2時間かけて一杯のコーヒーを」という体験に、今回もプロの講師

にカフェの店主も応援に来てくださり、参加者と一緒に、コロナ対策は忘れず、時間を忘れて楽しむことができました。ちなみに今回は、予行演習の成果もあり、何と30分の時短に成功。次回からは1時間半かけて一杯のコーヒーを楽しみイベントにしたいと思います。それでもやはり、七輪での炭火熾しに焦るスタッフでした。

※前回の様子は「植田家だより44号」をご覧ください。

（スタッフ）



⑦冷ます用の団扇を構える参加者



⑧ようやく石臼で挽ける状態に



⑨コロナ対策をしながら交代で体験



⑩楽しい30分間が終わり



⑪挽いて粉になった珈琲に感動



⑫後はプロの淹れるコーヒーを待つ



①講師と店主による珈琲の話（8分）



②七輪の前で必死なスタッフ（15分）



③珈琲豆の選定作業に進む（5分）



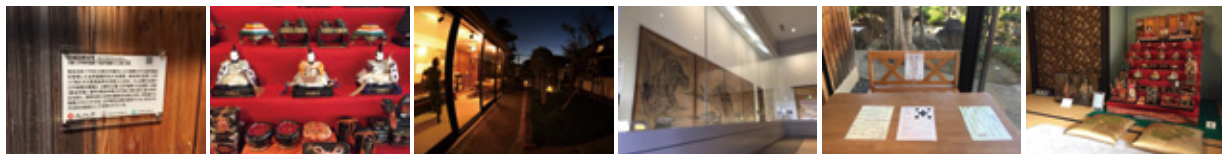
④何とか間に合い、焙煎開始



⑤交代で作業（手袋は一人に一つずつ）



⑥ひたすら焙煎すること約20分



特集

# コロナ、この一年

新型コロナウイルスが全世界に広がり一年以上が経過。

旧植田家住宅ではどんなことがあったのかをふりかえる。



今なお猛威をふるう新型コロナウイルスは、例外なく、全人類にとつての脅威といえます。しかし、この中（コロナ禍）にあっても人々の考え方や物の見方は異なり、場所や地域によって対策にも違いが見られます。旧植田家住宅ではこの一年どのような事があったのか、誰も興味はないと思いますが、少し振り返ってみたいと思います。

## 3月

まずは、3月の「全国小中学校一斉休校」に端を発した「臨時休館」。新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、当初3月3日から13日までの予定でしたが、その後31日、4月3日、5月6日へと次々延長され、最終的には5月20日まで休館日となりました。その間、旧植田家住宅では展示やイベントが出来ない分、解除後と収束後に向けた準備や、SNSを活用した取り組みを行いました。また初期の段階で八尾市が9月30日までのイベントを全て中止すると決めたことは、今思うとかなりの好判断であったと同時に当初の混乱ぶりが窺えます。

## 5月

4月7日の「緊急事態宣言」発出から5月20日の解除までは、全国的に新しい生活様式や様々な感染予防が求められました。オンライン○○

なども浸透する中、旧植田家住宅ではフェイスブックやツイッター、ブログ（いまどき）などで情報を発信しています。そして5月21日から施設が再開。予定を一部変更して、明治時代の疫病（コロナではなくコレラ）に関する文書や出版物の展示を行いました。この一年で入館者数は大きく減ってしまいました。

## 10月

いきなり飛んで10月は、イベントが解禁となりましたが、コロナの第二波、第三波を警戒し、やはり自粛が続きます。その中で特別展と11月に関連講演会、夜間開館、12月も地域連携のイベントが実施できたことは、緊張感もありながら、大きな喜びでした。

## 1月

新年を迎え、全国のコロナ感染拡大が続き、2度目の「緊急事態宣言」が発出。1カ月が過ぎても状況が変わらず、3月7日まで延長となりました。しかし大阪などでは2月末に前倒しで解除され、そして現在に至ります。

この一年で「コロナ」と何回言ったか、これから何回言うのか。それは誰にも分かりませんが、一日でも早い収束を願い、旧植田家住宅はこれからもみなさんのご利用をお待ちしています。

（安藤亮）



# 新型コロナ対策とこの一年 (2020.3～2021.4)

\*赤字は八尾市及び旧植田家住宅関連

- 3月 2日「全国 小中高一斉休校要請 ～春季休業前」  
3日「八尾市 各施設の臨時休館 ～3/13」  
「八尾市 各施設の全イベント中止を決定 ～9/30」  
13日「臨時休館(八尾市) 延長 ～3/31」  
31日「臨時休館(八尾市) 延長 ～4/3」

- 4月 1日「全国 全世帯に布マスク 2枚ずつ配布の方針」  
3日「臨時休館(八尾市) 延長 ～5/6」  
7日「緊急事態宣言」(東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県)  
16日「緊急事態宣言」(全国に拡大)

- 5月 6日「臨時休館(八尾市) 延長 ～5/20」  
14日「緊急事態宣言 一部解除」(北海道・東京・埼玉・千葉・神奈川・大阪・京都・兵庫の8都道府県を除く)  
21日「緊急事態宣言 一部解除」(大阪・京都・兵庫の3府県)  
「旧植田家住宅 再開」(通常・企画展「明治の疫病・出版物」～7/19)  
25日「緊急事態宣言 解除」(「全国 移動自粛要請」)  
30日「大阪コロナ追跡システム」登録

- 6月 19日「全国 移動自粛要請 解除」

- 7月 11日「感染防止宣言ステッカー(大阪)」登録  
12日「大阪 警戒信号(黄色)」

- 8月 4日「大阪 ポピドンヨードによるうがい励行。～8/20」

- 9月 30日「八尾市 各所イベント解禁も自粛継続」

- 10月 24日「特別・企画展「旧辻田家寄贈襖絵初公開」～12/25」

- 11月 15日「特別・企画展関連講演会 開催」

- 12月 3日「大阪 医療非常事態宣言 12/4～12/15」  
16日「非常事態(赤色)の対応方針に基づく要請」

2021年

- 1月 8日「緊急事態宣言」(東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県。～2/7)  
13日「緊急事態宣言」(大阪、京都、兵庫、愛知、岐阜、福岡、栃木の7府県。～2/7)

- 2月 8日「緊急事態宣言 一部解除」(栃木。他は延長～3/7)  
28日「緊急事態宣言 一部解除」(大阪、兵庫、京都、愛知、岐阜、福岡の6府県)

- 3月 21日「緊急事態宣言 解除」

- 4月 5日「まん延防止等重点措置」(宮城、大阪、兵庫。～5/5)  
7日「大阪 医療非常事態宣言」  
11日「まん延防止等重点措置」(東京。～5/11)  
12日「まん延防止等重点措置」(京都、沖縄。～5/5)  
20日「まん延防止等重点措置」(埼玉、千葉、神奈川、愛知。～5/11)  
25日～「緊急事態宣言」へ(※4月23日現在)



展示室の足踏み式消毒台

## 中止になったイベント1

- ・畑活用計画 (5月)
- ・ボランティアガイド要請講座
- ・ぶらりまちあるき (6月)
- ・講座1「植松のむかし話」
- ・こども昔くらし体験 (7・12月)
- ・土蔵でクラフト (8月)
- ・夏のお茶会
- ・かまどでご飯炊き体験 (9月)
- ・講座2「幻の銭湯“竜華湯”」
- ・かまどで月見団子、観月会 (10月)

## コロナ禍にできたこと

- ・#打ち水大作戦 (8月)
- ・#エア博物館 (SNS)
- ・新しい生活(利用)様式
- ・新用語(ソーシャルディスタンス、3密回避、ステイホーム、アベノマスクなど)

## 中止になったイベント2

- ・蓄音機で回想法 (11月)
- ・うえまつ劇場 (新)
- ・旧家でコンサート
- ・旧家で食事会
- ・おもちつき大会 (12月)
- ・こどものためのお茶会 (1月)
- ・旧家で落語の会 (2月)
- ・講座3「古民家・重文民家の話」

# 四会所だより (27)



## 四会所交流・活動状況

平成24年度から凡そ隔月のペースで実施している四会所交流も、新型コロナウイルスの影響を受け、延期になる回が増えました。各新田会所(地域)毎に状況は違っていますが、同じ大阪府下であり、何処も苦労が絶えません。

現在は各会所とも一部活動を自粛し、制限を設けるなどの対策をとりながら事業に取り組み、幸いにして開館・開園できている状況です(4月現在)。また、このコロナ禍で、オンラインを活用した講座や会所のPR動画を作成・公開する動きも見られました。ちなみに安中新田会所跡ではオンライン講座もPR動画の公開も未だやっておりません(未定)。

四会所交流の事業として現在も継続中のスタンプリー「大坂四会所巡り」では、集印地図の配布(無料)を実施してお



り、このたび平野屋新田会所 市民サポーター会議によって啓発ポスターとチラシが作成されました。入館者が減る中、このチラシをきっかけに新たに新田会所に興味を持ってくださる方が少しでも増えることを願います。

「集印 大坂四会所巡り」のチラシ

(作成：平野屋新田会所市民サポーター会議)

\*四会所巡回記念品の贈呈は、無くなり次第終了

まだまだマスクと消毒が欠かせない日々が続きますが、時折コロナ疲れを癒しに、風通しの良い場所で、会所めぐりを楽しんでもらえたらと思います。まずは四会所の名前だけでも覚えて帰っていたければ幸いです。

(安中新田会所跡 安藤亮)

## 集印 大坂四会所巡り 各会所案内(スタンプ設置場所)

### ●大東市立歴史民俗資料館

- ・大東市野崎3-6-1 (来ぶらり四条2階)
- ・JR野崎駅下車 徒歩15分
- ・9:30~19:30 (第1・3火曜休館)
- ・入館無料
- ・お問合せ:072-876-7011



大東市指定文化財

### ●平野屋新田会所跡

- (大東市)
- ・JR住道駅下車 徒歩25分

※スタンプは大東市立歴史民俗資料館にあります。



国指定史跡・重要文化財

### ●鴻池新田会所 (東大阪市)

- ・JR鴻池新田駅下車 徒歩5分
- ・9:30~17:00 (月曜休館)
- ・大人300円、小中学生200円
- ・お問合せ:06-6745-6409



大阪市指定文化財

### ●加賀屋新田会所跡 (住之江区)

- ・Osaka Metro住之江公園駅下車 徒歩15分
- ・10:00~16:30 (月曜休園)
- ・入園無料
- ・お問合せ:06-6683-8151 (管理事務所)



雑記帳  
旧植田家住宅  
- 日常から日用まで -

## 第4日：エコなハコとゴミ袋

MOTTAINAI



### 【もったいない精神】

お店のレジ袋有料化に伴い、マイバッグ(エコバッグ)の使用頻度が増えた一方、これまで当たり前だったゴミ箱に使うゴミ袋が減り、レジ袋がより貴重なものとなりました。それはさておき、まだ使える、いつか使うだろうと大事にとっておく「もったいない精神」はエコにつながり、やがて文化遺産となることもあります。旧植田家住宅の資料の多くはそんな精神から成り立っていると、いか、いないとか…。

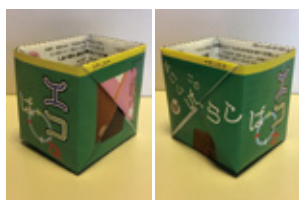
### 【作ってみよう、使ってみよう】

日常業務の中でも、なるべく3R(4頁参照)を心がけ、残った展示のチラシで作った箱や古新聞、ゴミ袋を使っています。特に昨年は突然のコロナ休館で数百枚のチラシが無駄になったため、何とかしよう、もったいない精神を発動！企画展「昔のくらしはエコな暮らし」では廃棄チラシで鍋敷きを作るコーナーを設けたり、本企画展はチラシ自体を最初から箱になるように工夫をしました。(お手元に捨てようとしているこのチラシがある方はぜひ作って使ってみてください。)



「エコな暮らし」展のチラシ

ちよつとややこしいけど、  
順番に折っていくと… ↓



文字やイラストも変わる

エコなハコの  
完成！

とはいえ、何かと便利で楽な暮らしに慣れてしまった現代では、ちよつとした手間も惜しむことが多くなっているように思います。また情報のデジタル化が進み、最近では新聞を取らない家も珍しくなく、古新聞の再利用はあまり現実的ではなくなってきました。それでも旧植田家住宅では、今日も反古紙をメモに、チラシをハコにし、古新聞はゴミ袋、かまどの焚き付けにと重宝しています。展示で使った廃棄パネルも日用からイベント、アートまで幅広く資料として用いています。時間がもったいないと言わず、楽しまないと、もったいない。

【古新聞でエコ袋】  
ごみ箱の大きさに合わせて作れる。

新聞紙でエコな  
ごみ袋の作り方



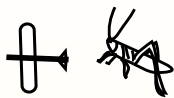
毎日使ってます(二つの意味で)



切る

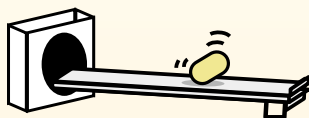


動かす



# てならし 手習い所

3月6日(土)



貼る



いまむかし  
今昔遊び体験  
2021年

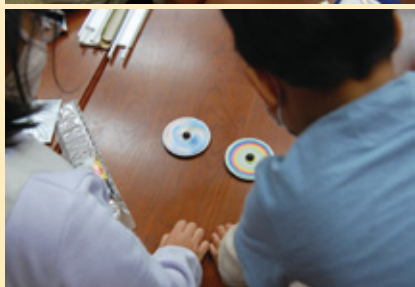
いまむかし  
今昔あそび体験  
手習い所〜ビー玉を使った遊び〜

これまで連続体験講座として実施してきました「手習い所」は、今回から「遊び」に特化した体験型講座として始まりました。といっても、中身はあまり変わらず、昨年の長期コロナ休館前に実施した内容（植田家だより44号）参照にもうひとつ今と昔の遊びの要素をプラスし、体験してもらいました。

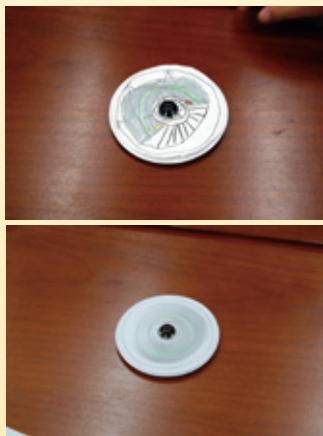
今回は「ビー玉を使った遊び」ということで、江戸時代のからくり玩具「俵ころぼし」と、新しい「ビー玉コマ」作りに挑戦。天気がよければ外で「昭和のビー玉遊び」も行なう予定でしたが、生憎の天気のため、室内だけとなりました。

俵ころぼしは、予め用意した型紙を切り貼りしてビー玉を入れるものと、アルミホイルに紙コップで作る2種類を実践。また「ビー玉コマ」は、こちらも予め用意した円盤型の台紙に絵を描き、ビー玉を接着して完成。いずれも「切る、貼る、描く、動かす」だけの単純な作業ですが、これがまさに遊びの基本といえるほどに、子どもも大人も夢中になりました。今後も色々な遊びを検討中です。

(スタッフ)



夢中で作って遊ぶ子どもと大人



描いた絵が回って混ざる様子

遊ぶ



描く



# マンジーくん

安富士 暁



## 植ちよぴ(ックス)

### ◆終了したイベント◆

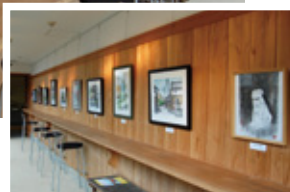
・「ギャラリー展示2020」

Ⅱ2021年1月6日(水)～1月31日(日)

「新旧大和川と新田会所周辺の風景」をテーマに昨年10月から募集を行なった「ギャラリー展示2020」では、常連の方をはじめ、10名の作品が集まった。今回(第12回)は墨、鉛筆、ペン、水彩などの多様な写生作品が旧植田家住宅のギャラリーに並んだ。作品は、古いまちなみが残る八尾・柏原の様子や建物・川に着目した風景のほか、植田家の庭や神社の狛犬を描いたものも見られた。作品の募集は今年度も行なう予定。



新旧大和川と新田会所周辺の風景をテーマに、鉛筆、ペン、水彩、墨など多様な作品が並ぶ



### ・冬限定企画「旧家で暖家支援」<sup>あったか</sup>

Ⅱ2021年1月9日(土)～3月1日(月)

「こたつで「暖らん」」「あったか飲料」「昔の暖房体験」などを行なう「旧家で暖家支援」は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、今年度は残念ながら中止しました。来年をお楽しみに。

.....

### ◆告知◆

### ・幻の銭湯「龍華湯」<sup>リゅうげつ</sup>の情報を募集

Ⅱ8月末まで

明治から平成まで旧植田家住宅(植松町)の近くにあった銭湯(温泉)「龍華湯」の情報を募集。この銭湯は、大阪の築港大潮湯などで知られる大工・森口留吉(八尾出身)によるものとされ、その姿がはっきりと分かる写真などが残っていない。今年9月に関連講座を開催予定。



※お問い合わせは旧植田家住宅まで

## 落穂拾い

## ― 今東光の董風 ― (四十二)

文・伊東健

現在NHKで放映中の朝の連続テレビ小説「おちよらん」で主人公を演じている杉咲花さんのモデルは、女優の浪花千栄子さんです。浪花千栄子さんといえば、元夫の渋谷天外さんは、今東光が書いた随筆「みずく説法」を舞台化した縁もありますが、やはり何といっても映画「悪名」「続悪名」で演じた因島の女親分、麻生イトを外すわけにはいきません。

麻生イトは実在した人物で明治九(一八七六)年に尾道市に生まれ、昭和三十一(一九五六)年五月に亡くなっています。因島を南に渡った生名島にある三秀園に残されている碑文には、

「明治、大正時代に活躍した女傑の一人といわれ、一代で造船業の下請けの麻生組を興した男装の女親分、麻生イト翁である。因島市土生町の公共事業や教育活動など町の発展につくし「憲政の神様」といわれた尾崎行雄などの政界人や河東碧梧桐のような

文人とも親交があった。晩年は私財を投じてこの立石に三秀園を造園して、観音信仰の霊場とした」(※)  
と、紹介されています。

この人物を今東光は取材し、作品に盛り込んでいきました。朝吉と琴糸の窮地を救う、男性以上に仁義に篤い人物でした。東光は以下のように描写しています。

やがて真中に麻生イト女が紋付に仙台平の袴で、その一家の若い者が同じく紋付袴のいでたちで介添えて控えた。(中略)

ざん切り頭を七三に分け、男物の衣裳を身にまとった麻生イト女は、同じく白扇の前に置いて、むずと坐り、口をへの字に結んで、眼光だけは炯々と光らせて一座を睨みわたしている。まさしく海の女王と云うのにふさわしい。(中略)

この人が、おしげの話だと、誤解だったとはいえ、乱暴者がいきなりなぐり込みをかけて日本刀を振って斬りつけ、数カ所の傷を受けながらも、気丈に凶漢を組み伏せ、順々と道理を聞かせて遂には有力な子分の一人にしたとは到底思えない。

(※)引用にあたり改訂部分等にも読点を付し、生没年は省略。なお、碑文では生没年が(1874-1956)となっています。

まるで幼稚園の先生みたいに柔和な顔つきだ。(後略)

(悪名昭和三十六(一九六二)年十月三十日新潮社発行より)

小説では麻生イトが自ら興した事業の跡継ぎを朝吉に託そうとするほどで、逆に言えば、東光は麻生イトの人物像に深い敬愛の念を込めていたと言えます。因島に鳴り響く河内音頭も印象的に描写され、朝吉の故郷である八尾と因島が重なりあいます。任侠・男気・腕っぷしなどが目立って評価されがちな小説ですが、朝吉や麻生イトが琴糸をどうして守りたいと思ったのか、この物語の重要な鍵となります。

今年は悪名の映画化六十年という節目にあたります。次回から、少し悪名の世界を覗いてみようと思います。

(提供：今東光資料館)



今東光資料館(八尾図書館3F) 春季企画展示  
「小説『悪名』と映画『悪名』」(3/13~9/5)

※展示については今東光資料館(八尾市本町2-2-8)まで。



# 旧植田家住宅のご案内

【2021年5月～8月】

## これからの展示・イベント

### 展示

2021年

◎4月29日(祝・木)～7月12日(月)

春季企画展「旧植田家時計展、時刻めぐり」

・5/3(祝・月) 展示解説の日

◎7月16日(金)～10月3日(日)

夏季企画展「みんなの戯画(ぎが)展」

・8/9(祝・月) 展示解説の日

展示、イベント等のお知らせは  
ホームページもご覧ください  
<http://kyu-uedakejutaku.jp/>



### イベント

(詳しくはお問い合わせください)

5月 ★5/1(土)～16(日) 旧家で記念撮影～こどもの日～

8日(土) 畑活用計画(はたふる)「河内木綿の綿を育てよう」

16日(日) ぶらり大和川～(八尾南)太田・沼 周辺～

6月 12日(土) 講座①「植松地域のむかし話」(講師:山田隆章氏)

7月 ★7/17(土)～9/12(日) 納涼企画「冷やし旧家、はじめました」

24日(土) こども昔くらし体験(夏)

8月 ★8/1(日)～9/12(日) 特別企画「旧植田家zoo(ズー)宅」

7日(土)・18日(水) 土蔵でクラフト(ものづくり体験)

開催未定 夏のお茶会(予定)

コロナ対策(マスク着用・3密回避・人数制限など)実施につき、  
ご協力よろしくお願いします。

※予定は変更となる場合があります。



## 休館日カレンダー

■ = 休館日

5 May

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 |    |    |    |    |    |

6 June

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |    |
|    |    |    |    |    |    |    |

7 July

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|    |    |    |    |    |    |    |

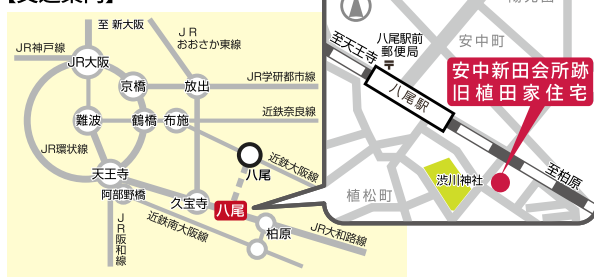
8 August

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |
|    |    |    |    |    |    |    |

「人間は文字を認識する  
とき、その最初の文字と  
最後の文字さえわかってい  
れば順番はめちやくちや  
でもちゃんと読める」と  
いう研究が数年前に流  
行りましたが、2月末に  
2回目の「緊急事態宣言」  
を早期解除した大阪府  
ではコロナの新規感染者  
が拡大し、昨日再び「医  
療常非態宣言」が発令  
されました。後先を読ま  
ないめちやくちやな対応  
と言われるを得せま  
が、最後はしっかりと収  
束に向うことを願うば  
かりです。読めました？」

#編集日記(48)

### 【交通案内】



◇JR大和路線「八尾」駅下車、南出口より東へ徒歩約3分

◇近鉄大阪線「近鉄八尾」駅から近鉄バス藤井寺駅前行  
JR八尾駅前バス停下車、南東へ徒歩約5分

※当施設には駐車場はありません。車での来館はご遠慮ください。

●開館時間:午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休 館 日:火曜日・祝日の翌日・年末年始  
(詳しくは休館日カレンダーをご覧ください)

●入 館 料:一般250円(団体20人以上で120円)  
高校・大学生120円(団体60円)

※中学生以下、身体障害者手帳等の所持者および介助者は無料

●お問い合わせ・見学のご相談(ご予約)

〒581-0084 大阪府八尾市植田町1-1-25

TEL/FAX:072-992-5311

E-mail: info@kyu-uedakejutaku.jp

# 本当の幸せって？ 本当の豊かさとは？

モノや情報があふれ、それを大量に消費する社会。  
人々の価値観は変わり続け、本当に大切なものは・・・

そのような中、人々の考え方は「利己から利他へ」「古き良きものを見つめ直す」のように、  
人とのつながり、過去と未来のつながり、社会とのつながりを求めるよう  
変化してきているのではないのでしょうか？

私たち、株式会社シーズクリエイトは情報を提供する立場にあります。  
その情報を活かし、地域のヒト・コト・モノとネットワークを築き、  
そのつなぎ役を担うことで新たなコミュニティを創造し、  
地域経済を活性化させたいと思っています。

